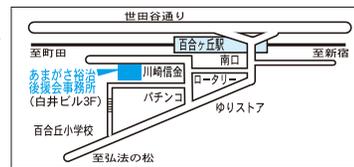




発行所/みらい川崎市議会議員団事務局
 〒210-8577
 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内
 TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

百合丘事務所 〒215-0011
 川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F
 小田急線百合丘駅下車徒歩1分
 TEL・FAX:044-955-2417
 メール: amagasa@khaki.plala.or.jp



ホームページ: <http://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています。

市営地下鉄3号線延伸の開通促進を! 延伸で「これからのまちづくり」が始まった!

今年1月の横浜市営地下鉄3号線(ブルーライン)延伸の事業化決定は、これからの麻生区のまちづくりに対して、大きなインパクトを持っています。長年、地下鉄事業化の推進のために力を尽くしてきた**私の立場は、あくまでも開通促進です**。「あの時しっかり考えておけば…」と後悔しないように、市民の皆さんからお話を聞き、課題を整理し、これからのまちづくりのための問題提起とさせていただきますと考えています。

新百合ヶ丘駅北口ロータリーの機能拡充を

事業化決定後、駅周辺への民間事業者の投資意欲や再開発の機運が高まってきています。この民間の活力を使いながら、老朽化する公共施設や、立地自体が必要性を問われている麻生消防署など、民間施設を含めた新百合ヶ丘駅北口の再開発・ロータリーの機能拡充を具体的に検討する時期になったといえます。

駅北口再開発の中では、魅力あるこれからの時代の流れにあった新たな商業集積が必要です。基盤整備を前提に、新百合ヶ丘駅南北で新しい交通インフラの分散を図ることも必須のことです。いま世界中で取り組まれているMaaS(IoTによる次世代モビリティを活用し、いろいろなサービスを連携させた移手段)への取組に対応する、バス乗降可能な機能性のあるロータリー設置をしなければなりません。

さらに、駅南口に「地下鉄ブルーライン新百合ヶ丘駅」が建設されますが、「小田急線新百合ヶ丘駅」にホームtoホームの乗り換えが便利な位置で整備されるよう進められているはずですので、この機会をしっかりとらえて、駅南口ロータリー機能の公共交通と自家用車の分離とバリアフリーの充足も整備の重要なポイントです。

さらに、駅至近な範囲では商業施設の再整備がなされます。

「選ばれるまちづくり」を

商業集積のラインナップを大幅に見直すことにより、

「買い物をするならば、二子玉川やたまプラーザよりも新百合ヶ丘へ」といった選ばれる街、人が集積する中心地として、南北一体での商圈を充実させる必要があります。これらの変化により、現状は閑静で良好な住宅街でありながらも、新百合ヶ丘駅までバスで5分、10分かかるために高齢化や老朽化が進む「住宅地エリア」を、次世代の人たちに、都市としてのサービスを楽しみながら、緑豊かな環境を満喫できる魅力ある「住みたいまち」として選択してもらわなければなりません。サステナブル(持続可能)なまちとして、生き残っていくために重要なコンセプトだと考えています。

ルート決定とともにまちづくりの具体化を

今年度中に中間駅位置とルートが決まれば、具体的な計画立案、様々な手続きが生じます。東ルートならば調整区域の市街化誘導、西ルートならば周辺の用途区域格上げ、中央ルートで王禅寺公園付近ならば住環境に配慮した周辺再整備などの検討が不可欠です。また「自動運転バス」やA Iが最短ルートで選んでくれる「次世代モビリティ」もすでに商用化される今、これからの交通システムに対応できる交通広場はどんなもので、それをどこに、どのように配置するのかなどもすぐに検討しなければなりません。商業施設やコミュニティ施設の配置についてもそうです。

そのためには、中間駅位置、ルートについての公平公正な情報や資料提供が必要です。行政はどのような資料を基に、どのように考えて、ルートを決めていくのかを市民に明示し、市民はその情報をもとに、生活感覚の中から行政の計画に対してフィードバックする流れが作りたい。そして、川崎市の負担分として200億円を超えるコストをかけるのですから、多様な魅力がたくさんあり、持続可能性のある「これからのまちづくり」をすすめる必要があると考えています。



※駅の場所を特定するものではありません



新しく生まれかわる
 新百合ヶ丘駅周辺に
 求めたいことについて
 皆様のご意見を!



川崎市議会議員
あまがさゆうじ
 裕治

ご意見をお聞かせください

【設問1】 川崎市も200億円を超える負担をします。中間新駅周辺にまちづくりの視点をもつべき
 ①そう思う ②そう思わない

【設問2】 新百合ヶ丘駅南口・北口へロータリー機能の分散と充実を図ることが大切
 ①そう思う ②そう思わない

【設問3】 区役所、消防署は必要不可欠なものを配置すれば移転してもよいか
 ①そう思う ②そう思わない

【設問4】 裏面に示した中央ルートのバス便本数の誤りについて
 ①訂正し、出し直すべき
 ②運行本数の数だけしか判断していないので説明を加えればよい

【ご意見】

お住まいは? 麻生区 . 丁目

※居住地ごとに集計の上、川崎市に提出しますので必ず町番を御記入下さい

川崎市が東側ルートを優位性とするのは

①バス便が一番多い ②新百合ヶ丘駅から遠い ③多摩区・宮前区に寄っている の3点
まちづくりの視点がまったくありません!

川崎市の視点

【視点1】既存のバス路線を中心とした地域交通との連携による相乗効果は？	西側ルート	中央ルート	東側ルート
既存のバス便の状況 (川崎市が強調する視点)	・既存バス路線の本数が多い ・既存バス路線の行先は多いが、大半が白山付近と新百合ヶ丘駅を連絡する路線であり、バスと鉄道の機能が重複する	・既存バス路線の本数が少ない ・既存バス路線の行先が少ない 実際は7方向。調査ミスで根拠とならない	・既存バス路線の本数が多い ・既存バス路線と多方面で接続している ① バス便が多い
近隣のバス路線の行先	約 600 本 / 日	約 100 本 / 日 約 400 本 / 日	約 400 本 / 日
近隣のバス路線の行先	①新百合ヶ丘駅②大谷③聖マリアンナ医科大学④田園調布学園大学⑤溝口駅⑥鷺ヶ峰営業所	①新百合ヶ丘駅②田園調布学園大学③たまプラーザ駅④百合ヶ丘駅⑤大谷⑥聖マリアンナ医科大学⑦溝口駅	①新百合ヶ丘駅②宮前平駅③宮前区役所④溝口駅⑤鷺ヶ峰営業所⑥生田駅⑦柿生駅⑧あざみ野駅⑨たまプラーザ駅

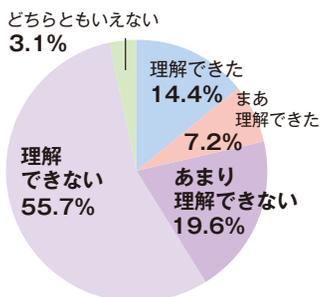
市民から私へバス路線の行先が中央ルートで正確になっていないとの指摘がありました。私の議会質問で中央ルート王禅寺公園付近のバス便の評価が間違っていることを市が議会で認め、今後この経緯を丁寧に説明していくと答弁しています。

【視点2】鉄道による周辺まちづくりの効果を活かすため、中間駅が適切に配置されているか？	西側ルート	中央ルート	東側ルート
中間駅位置	白山付近	王禅寺公園付近	ヨネッティエ王禅寺付近
既存駅までの直線距離	新百合ヶ丘駅 約 1,500m 柿生駅 約 1,300m	新百合ヶ丘駅 約 1,300m 百合ヶ丘駅 約 1,500m	新百合ヶ丘駅 約 1,900m 百合ヶ丘駅 約 1,800m ② 新百合ヶ丘駅から遠い
交通の状況 (川崎市が強調する視点)	・利便性が高く広域拠点である新百合ヶ丘駅へのバス路線が充実 ・新百合ヶ丘駅、柿生駅との距離が近い	・利便性が高く広域拠点である新百合ヶ丘駅や、百合ヶ丘駅との距離が近い	・バス路線により、宮前区や多摩区まで利便性が向上する ③ 多摩区・宮前区に寄っている

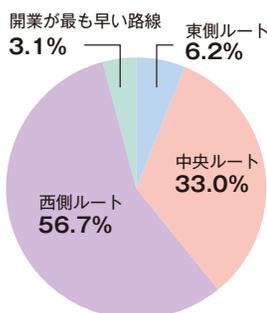
川崎にはまちづくりの視点がまったくない!

19年3月7日の予算委員会で藤倉茂起副市長が「まちづくりや地域交通の現状を比較評価した結果に基づき有力ルート案を示した。今後、市民の方々にに対し丁寧に、より詳しい内容を示し、意見を聞きながら平成31年度中を目途に1案を選定していく。」と答弁しましたが、行政への聞き取り調査でまちづくりの視点が全く無かったことがわかりました。

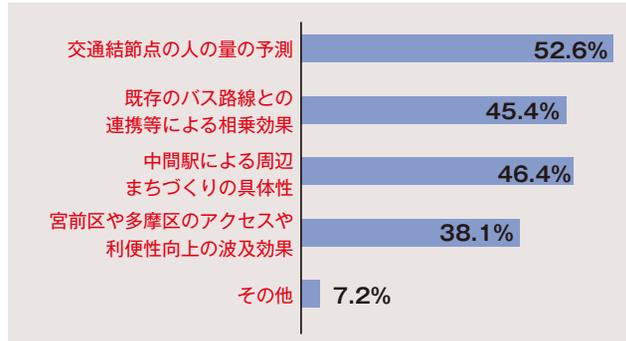
東側ルートの優位性を理解できましたか？



改めてどのルート？



理解しにくい点はどんなことですか？(いくつでも)



※回答者の居住地:王禅寺東1丁目3%、王禅寺東2丁目10%、王禅寺東3丁目10%、王禅寺東4丁目6%、王禅寺東5丁目10%、王禅寺西2丁目14%、王禅寺西3丁目14%、王禅寺西4丁目2%、王禅寺西8丁目1%、白山9%、上麻生8%、その他13%

郵便はがき

215-8790

料金受取人払

麻生局承認

777

差出有効期間
2021年1月
15日まで

(受取人)
川崎市麻生区高石
3-27-4

あまがさ裕治
事務所行

あなたのご意見をお寄せください

「東側ルート」の優位性の説明に関するアンケート結果から見えてきた市民の視点は「開通促進」と「まちづくり」

東側ルートが良いと思う理由

■駅ができると必然的に商業施設も新たに生まれる。中央ルート、西側ルートでは既存住宅地があり、無理があるのでは。その点で土地的にも余裕のある東側が好ましいと考える。

■西側にこだわる理由がわからない。大局的には、早期に開通し、新百合ヶ丘と横浜がつながることが大事。混乱が長引く議論は避けて欲しい。

中央ルートが良いと思う理由

■現状のバス路線の視点ではなく、将来の道路計画を考慮すべき。尻手黒川と菅早野線の交差する位置に計画する方が妥当。ヨネッティエもグリーンタウン両者が利用可能。

■予算が少なく済む費用対効果でも理にかなっている。あざみ野方面に向かう場合、バスのルートが多い王禅寺公園付近で、乗り換え客が多くあると考える。聖マリアンナ、百合ヶ丘、溝口の各方面から新百合ヶ丘駅が止まるバス停だが、バス便状況が正確ではないのでは？

西側ルートが良いと思う理由

■麻生区のポテンシャルは、良質な住宅地にある。高齢化が進み、活性化が必要である。住宅の多い場所こそ刺激が必要である。

■住宅が多く、あざみ野駅までのアクセスにバスを利用しているが、時間がかかって困っている。通勤時間帯は混んでいていつも遅れている。また高齢化が進んでいるので、再開発に期待している。

■住宅地の下を通る部分が少ないので住民の理解が得やすい。自分の家の下を地下鉄が通るのは誰でも嫌だとか思うので、苦しむ人を最小限にすべき。

開業が最も早い路線

■大多数の人の願いは、新百合ヶ丘から、早く田園都市線、横浜駅、新横浜駅とつながること。遅延は困る。

お名前	住所・電話
ふりがな	川崎市
TEL	()